

川越市（7月）定例記者会見



日 時 令和8年7月10日（金）

14時00分～

場 所 川越市役所4階 迎賓室

川越市（７月）定例記者会見次第

令和８年７月１０日（金）

１４時００分開会 迎賓室

１ 開 会

２ 説 明

○ 小江戸川越ハーフマラソン２０２６について（スポーツ振興課）

○ 令和８年度セーレム市中学生交流団派遣事業について

（国際文化交流課）

３ 質疑応答

４ その他

５ 閉 会

- ◆ 開催日 令和8年11月29日(日)
- ◆ 会 場 ホットスタッフ川越パーク(川越水上公園) 式典、スタート・フィニッシュ
- ◆ 主 催 川越市、(一財)埼玉陸上競技協会
- ◆ 共 催 川越商工会議所
- ◆ 主 管 小江戸川越マラソン実行委員会、川越市陸上競技協会
- ◆ 企画運営 川越商工会議所青年部、(公社)川越青年会議所、川越商業経営研究会
- ◆ 特別協賛 (株)ぎょうざの満洲



大会HP



FB



X

小江戸川越マラソン実行委員会事務局
049-228-0102
sportsshinko@city.kawagoe.lg.jp

コース(ハーフの部)

ハーフの部(21.0975km) 日本陸連公認コース

水上公園(スタート)～川越西郵便局～
月吉陸橋～連雀町交差点～一番街～
札の辻交差点～川越市役所～氷川神社～
地方裁判所～神明町交差点～石原町交差点～
星野学園～北環状線～平塚橋～
下小坂交差点～資源化センター～
鯨井中(折り返し)～平塚橋～北環状線～
今成2丁目交差点～今成学校給食センター付近～
川越西郵便局～水上公園(フィニッシュ)



ゲストランナー



安田 美沙子(やすだ みさこ)
タレント・女優として幅広く活動。また、ランニングアドバイザーの資格を持つ本格派ランナーとしても知られる。2008年にフルマラソンに初挑戦し、名古屋ウィメンズマラソン2012では3時間44分56秒を記録。2児の母となった現在も、大阪マラソン2025、東京マラソン2026で「サブ4」を達成するなど、精力的に走り続けている。

たむじょー

チャンネル登録者数17万人超えのランニング×コメディYouTuberとして幅広く活動。また、箱根駅伝(8区)や全日本大学駅伝(1区)への出場経験を持つ本格派ランナーとしても知られる。大学時代に関東インカレ3000mSCで2度の準優勝を果たすなど輝かしい実績を残し、フルマラソンでは2時間26分09秒を記録。現在も、陸上・ランニングの楽しさや真剣さを広めるため、活動をしている。



種目・申し込み

種 目

- ◆ ハーフ 日本陸連公認コース 定員6,000人
一般・40代・50代・60代・70代以上の部
- ◆ 10km 日本陸連公認コース 定員3,000人
高校生・一般・40代・50代・60代・70代以上の部
- ◆ Fun Run 約4km 定員1,000人程度
一般の部(中学生以上500人)
ペアの部(小学生と保護者の2名250組)

参 加 費

- ◆ ハーフ: 8,000円
- ◆ 10km: 6,000円 ※高校生は3,000円
- ◆ Fun Run: 一般の部4,000円・ペアの部5,000円
- ◆ 大会サポートランナー: 各種目の参加費に1名あたりプラス10,000円

募集期間

- ◆ 川越市民枠: 8月4日(火)正午～8月6日(木)(各種目定員の2割程度)
- ◆ 一般申込、大会サポートランナー枠: 8月18日(火)正午～

申込方法

- ◆ インターネット・電話

令和 8 年度 セーレム市訪問中学生交流団派遣

1 概 要

◆ 目 的

本市の未来を築く中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を通じて、両市間の友好親善に寄与すること。

◆ 主 催 川越市／川越市姉妹都市交流委員会

◆ 派遣先 アメリカ合衆国オレゴン州セーレム市

◆ 派遣期間 令和 8 年 8 月 4 日（火）～10 日（月） 5 泊 7 日

◆ 対 象 川越市在住の中学 2 年生、3 年生

◆ 派遣人数 中学生 10 名、引率 2 名

◆ 自己負担額 15 万円（その他パスポート取得費、保険等の個人的経費）

1

2 スケジュール

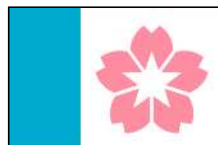
応募から派遣生決定まで

応募書類提出（～4/15）
書類選考（～5/8）
面接選考（5/17）
派遣生決定（～5月末）

事前研修・結団式・報告会

事前研修 4 回（6 月・7 月）
セーレム市について・OBOG 懇談会
英会話・グループワーク等
結団式（8/3）
市長・教育長等へ出発のあいさつ
報告会（8/17）
市長・教育長等へ帰国のあいさつ

セーレム市訪問
8/4～10 5 泊 7 日
（内容は令和 6 年度の例）



8/4 ポートランド空港到着 バスでセーレム市へ ホストファミリーと対面
8/5 ウィラメット・ヘリテージ・センター見学
8/6 シルバーフォールズ州立公園でピクニック、ノースセーレム高校見学
8/7 セーレム市長表敬訪問、ダウンタウン散策、市立図書館見学
8/8 ホストファミリーと過ごす サンキューディナー
8/9 セーレム市発 ポートランド空港発 機中泊
8/10 帰国

2

3 派遣の様子／これまでの派遣／派遣生のその後

令和6年度派遣の様子

コロナ禍を経て5年ぶりに派遣。令和6年度より、中学2年、3年を対象とした公募制に。



川越市が寄贈したひな人形の前で



シルバーフォールズ

これまでの派遣

海外姉妹都市への中学生派遣はこれまでドイツ オッフエンバッハ市へ12回、セーレム市へ17回、フランスオータン市へ1回実施し、参加した生徒は延べ500人以上になる。

セーレム市へは昭和62年に第1回の中学生交流団を派遣。市内公立中学校22校の半分、11校の代表を派遣していた時期、22校の代表を派遣していた時期を経て公募制に。

オフエンバッハ市とは相互に派遣しており、今年度は川越市にオフエンバッハ市の青少年を受け入れる年になる。10月に来訪予定。

派遣生のその後

コロナ禍で事業が実施できなかった令和2年度に、これまでに事業に参加し、成人を迎えている440名を対象に本事業が与えた影響や効果を調査するためアンケートを実施。

派遣に参加して大変良かった、良かったの割合は99%、その後の生活や就職・進路の決定に影響があったと回答した割合は84%となっている。

経験を活かし、外務省職員、外資系企業、通訳者、研究員などの仕事をしている派遣生も。

初めての海外が派遣だった生徒も多く、その後に大きな影響与えている。

3

4 セーレム市との姉妹都市盟約締結40周年

セーレム市とは、1986年（昭和61年）8月1日に姉妹都市盟約締結

◆ 提携のきっかけ

東京国際大学とウィラメット大学の姉妹校提携による学生の交換交流に伴い、ホームステイなどを通じて多くの市民がセーレム市との交流に関わっていた。こうした市民間の交流が盛んに行われたこと、姉妹都市提携についての陳情があったこと、また、セーレム市から姉妹都市についての申し入れがあったことから提携した。

◆ 主な交流

- ・ 中学生交流団の派遣
- ・ 市民訪問団の相互派遣
- ・ 市立川越高校とノースセーレム高校の姉妹校事業

今年、姉妹都市盟約締結40周年を迎えます

10月にセーレム市から締結40周年を記念し市民訪問団を迎える予定。これまでの交流を振り返り、未来への展望を共有します。

4